

I

第1問

問1. (1)A—⑤ B—④ C—② D—③ E—①

(2)ア—④ イ—⑨ ウ—① エ—⑦ オ—② カ—⑩ キ—⑪ ク—⑧ ケ—⑤ コ—③
サ—⑥

問2. (1)—② (2)—③④

問3. (1)—① (2)—③

第2問

問1. (1)ア—⑦ イ—③ ウ—⑤ エ—② オ—④

(2)(イ)—a⑥ b⑨ (ロ)—a⑥ b⑩ (ハ)—a⑨ b⑩ (ニ)—a⑨ b⑨ (ホ)—a⑥ b⑩
(ヘ)—a⑥ b⑨ (ト)—a⑦ b⑦

問2. (1)ア—② イ—① ウ—③ エ—①

(2)—②

第3問

問1. A—⑬ B—⑤ C—⑪ D—④ E—① F—⑦ G—③ H—⑭ I—② J—⑩ K—⑨

問2. (1)—② (2)—⑦ (3)—⑧ (4)—③ (5)—D② F⑥ (6)—D④ F⑤

II

問1. (1)ア—好中球 イ—マクロファージ ウ—樹状細胞

エ—ナチュラルキラー細胞 オ—T細胞 カ—B細胞

問2.

	自然免疫	適応(獲得)免疫
病原体などの異物の認識の様式	病原体に広く存在する特徴を幅広く認識する。	特定の病原体に存在する特定の特徴を認識する。
存在する生物	動物界に広く存在する。	○
病原体侵入後の応答の速さ	病原体の侵入後、ただちに応答する。	病原体の侵入後、遅れて応答する。
過去の感染の効果	過去の感染の効果はない。	○

問3. (1)—抗原提示 (2)—リンパ節 (3)—T細胞

問4. 【解答のポイント】

HIV の感染対象であるヘルパーT細胞が、B細胞やキラーT細胞の活性化に関わる役割を担うことを示し、その減少が適応免疫に繋がる論理を展開する。

問5. (1)—(人物1) C (人物2) A (人物3) B

(2)—(小さい山) 一次応答 (大きい山) 二次応答

(3)—【解答のポイント】

一回目のワクチン接種により形成された細胞の存在に触れ、二回目の同一のワクチン接種により同細胞が応答して増殖する仕組みを正しく記述する。

(4)—(人物1) C (人物2) A (人物3) C

※一義的な解答が示せない問題については、「解答のポイント」を示しております。